

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 422

2024年9月17日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> mail:info@9jou.jp

憲法9条を守り生かす「宮城のつどい」2024 講演

「憲法と戦争とジェンダー」

自民党政権は「専守防衛」投げ捨て、先制攻撃も辞さないとする日米軍事一体化をすすめる、有事の際には自衛隊は米軍の指揮下で活動することが想定されています。それらを合法化するために憲法9条に自衛隊を書き込む改憲を企てています。人間らしく生きるためには「自由」と「平等」が大切です。そしてこれらのものを奪う最たるものが戦争です。「九条の会発足から20年」、草の根から声を発して改憲発議を阻止しましょう。

日時：2024年10月27日（日）12:00（開場）

13:00 開演 オープニング宮城のうたごえ

15:30 終了

会場：仙台サンプラザ大ホール

講師：田中優子さん（法政大学名誉教授、江戸東

京研究センター特任教授、九条の会世話人

主催：みやぎ憲法九条の会

協賛：宮城県内九条の会連絡会

連絡先：022-728-8812 FAX：022-276-5160

* どなたでもお誘いあわせてご参加ください

* 全日本大学女子駅伝開催のため当日は交通規制があります。車でお越しの際はご注意ください。



主催／みやぎ憲法九条の会
協賛／宮城県内九条の会連絡会

1981-09-33 仙台青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F
TEL:022-728-8812 FAX:022-276-5160
<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> E-mail:info@9jou.jp



全日本大学女子駅伝開催のため当日は交通規制があります。車でお越しの際はご注意ください。

憲法改悪をゆるさない全国署名(9/13 現在)

宮城県内 9 条の会連絡会 : 5,390 筆 他団体 : 9,306 筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約 : 14,696 筆

* 署名欄付きハガキあります。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数お送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「〇〇市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「//」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。

宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所 : 仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間 : 12 時から 13 時まで。

実施日 : 9 月 24 日。(9 月 17 日は行いません)。10 月 1 日、8 日、15 日、22 日、29 日
(解散総選挙の日程によっては変更される場合があります。)

9 月の「19 日行動」

19 日行動は 2015 年 9 月 19 日に 9 条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

●仙台市 : 9 月 19 日 (木) 12:00~13:00 場所 : 仙台市中央通東二番丁平和ビル前

なお、10 月は 18 日 (金) 12:00~13:00 の予定です。

●石巻市 : 9 月 19 日 (木) 15:00~16:00 場所 : 石巻工業高校前・蛇田交差点

●涌谷町 : 9 月 19 日 (木) 13:00~13:30 場所 : 涌谷公民館前交差点

●小牛田 : 9 月 19 日 (木) 13:00~13:30 場所 : 国道 108 号山の神神社前交差点

●気仙沼市 : 9 月 19 日 (木) 11:00~11:30 場所 : クボ店前

●名取市 : 9 月 19 日 (木) 13:00~13:30 場所 : 名取駅西口前

●岩沼市 : 9 月 19 日 (木) 15:30~ 場所 : 二木の松交差点

●仙南九条の会：9月19日（木）11:00～11:30 場所：白石市ヨークベニマル前

10月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近 ・涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・小牛田：国道108号山の神神社前交差点

地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・宮城野原九条の会 23日行動：9月23日(月・祝) 13:00～13:30 坂下交差点
- ・鶴ヶ谷地域九条の会：9月18日(水) 11:00～12:00 鶴ヶ谷生鮮市場前
10月2日(水)11:00～12:00 鶴ヶ谷団地入口交差点、
- ・加茂九条の会：場所は泉区、北環状線と仙台大衡線の交差点、ショッピングセンター「ブランチ仙台」前、のぼり旗が目印。
毎週月・水・金曜日の7:30～8:15、水曜日14:00～14:30の週4回“ロシアのウクライナ侵略反対”でスタンディング 水曜日：13:30～14:00 ガザへのイスラエル侵攻反対でスタンディング
毎週木曜日 13:30～14:00「大軍拡・大増税NO！」でスタンディング

【県内で行われる活動情報】

戦争を語り継ぐ上映会（9月）

「 幻の地下大本営 」～極秘工事はこうして進められた・松代大本営～

太平洋戦争末期、本土決戦を想定した大本営は、政府機関や皇居を移転する地下壕を秘密裏に建設した。総延長10数キロに及ぶ「松代大本営」だ。近年、米議会図書館で朝鮮人労働者2400人を超える名簿が発見された。それによれば熟練した坑夫が必要なため、

岩手のダム建設現場などから家族ぐるみで労働者が集められたことが分かった。極秘工事の実態を明らかにし深い傷跡を描く。(2023年放送)

同時上映：「硫黄島～地下に倒れた精鋭部隊」(2009年放送)

日時：9月18日(水) 10:00～12:00

会場：泉区加茂市民センター・別棟会議室

主催：戦争を語り継ぐ会 (連絡先：野原 022-378-0872)

良い映画をみる会

「生きる」～大川小学校津波裁判を闘った人たち～

なぜわが子が学校で最期を迎えたのか。その答えを探し続けた親たちの10年間の記録。

2011年3月11日に起こった東日本大震災で、石巻市の大川小学校は津波にのまれ、全校児童の7割に相当する74人の児童(うち4人は未だ行方不明)と10人の教職員が亡くなった。地震発生から津波到達までには約51分。ラジオや行政の防災無線で情報は学校側にも伝わり、スクールバスも待機していた。にもかかわらず、学校で唯一多数の犠牲者を出した。この惨事を引き起こした事実・理由を知りたいという親たちの切なる願いに対し、行政の対応には誠意が感じられず、その説明に嘘や隠ぺいがあると感じた親たちは真実を求め、石巻市と宮城県に対して国家賠償を求めて提訴に至る。

この裁判の弁護団はたった2人。そして原告の親たちは「金がほしいのか」といわれのない誹謗中傷を浴びせられながらも、事実上の代理人弁護士となって証拠集めに奔走。彼らにとって裁判で最も辛かったのは、わが子の命に値段をつけなければならないこと。それを乗り越え「画期的」な判決を導く。親たちが撮り続けた膨大な闘いの記録。

日時：9月21日(土) 第1回上映 10:00～、第2回上映 13:00～、第3回上映 16:00～

会場：日立システムズホール3階エッグホール(旧青年文化センター)

入場料：1000円

主催：映画「生きる」上映実行委員会 (連絡先：野原 022-378-0872)

あえて自民党総裁選の翌日に国民に呼びかける

明文改憲を許さないアピール集会

9月2日、自民党改憲実現本部が「自衛隊を保持する」と明記する改憲条文の素案を了承したことを受け、岸田首相は「憲法改正を実現するという段階に入った」と強調しました。自民党総裁選において誰が総裁に選出されようが、今後自民党はこの方針を「党是」として改憲に邁進していくことは明らかです。今、改めて国民の皆さんに問いかけます。「自衛隊」明記の明文改憲を許していいのでしょうか？

日時：9月28日（土）11:00 開始

会場：仙台市元鍛冶丁公園

主催：明文改憲を許さないみやぎの会

問合先：宮城憲法会議（一番町法律事務所内 022-262-1901）

鶴ヶ谷地域九条の会憲法 cafe

「千葉卓三郎と五日市憲法草案」

千葉卓三郎は宮城県出身の自由民権運動家で神奈川県西多摩郡五日市町（現在は東京都あきるの市）の村立小学校勸能学校に勤務。国会開設に向けて1881年に民間憲法草案「日本帝国憲法」を教え子の深沢権八らと起草しました。この草案、長く深沢家の土蔵に眠っていましたが1968年東京経済大学調査団によって発見され、「五日市憲法草案」と呼ばれました。平等の権利、出版・表現の自由、信教の自由、結社・集会の自由などが盛り込まれており当時としては画期的なものだったといわれています。

日時：9月28日（土）13:30～16:30

会場：鶴ヶ谷市民センター第一会議室

講師：佐藤憲一さん（千葉卓三郎から学ぶ会代表、歴史研究家）

主催：鶴ヶ谷地域九条の会

問合先：事務局 090-8780-8091（篠原）

白井聡氏講演会

ニッポンの正体～漂流を続ける日本の未来を考える

名著・『永続敗戦論』に次ぐ衝撃の日本論第2弾

2015年9月の安保法制の強行採決、2022年12月の安保3文書によって、日本は「戦争のできる国」から「戦争をする国」に変貌しています。ウクライナ危機を口実に台湾有事＝日本有事を煽り、これによって国民の平和意識も揺らいでいるように思う。他方、日本経済は低迷を続け経済大国は過去のものになりつつある。平和も反映も、ともに失いつつある。この原因はどこにあるのか？再生の道はあるのか？

日時：9月28日（土）14:00～（開場：13:30）

会場：仙台弁護士会館4階

講師：白井聡さん（京都精華大学准教授）

参加費：無料、予約不要

主催：東北女性弁護士九条の会

連絡先：佐久間敬子法律事務所事務所 022-267-2288

小島妙子法律事務所事務所 022-225-5108

県民センター13年のつどい

創造的復興と復興〈災害〉の今～大災害時代に求められる震災復興を考える～

特別報告：能登半島地震被災者共同支援センター、県民センター報告：一年間の復興関連情報を整理し報告、活動報告：①「女川原発再稼働ストップ」原発問題住民運動宮城県連絡センター、②「東日本大震災～中小企業の再建～」宮城県商工団体連合会

日時：9月28日（土）13:30～16:30

会場：フォレスト仙台第5・6会議室

講演演題「阪神・淡路大震災から東日本大震災、熊本地震、能登半島地震へうち続く震災と『復興』をめぐる対抗—『人間復興』の到達点と課題—」

講師：岡田智弘さん（京都大学名誉教授、自治体問題研究所顧問）

会場参加： 申込不要 資料代：500 円

Web 参加：ZOOM

ミーティング ID：87655090934 パスコード：052550

* 資料はホームページに 9 月 24 日頃に掲載します。

主催：東日本自身被災者共同支援センター・復興支援みやぎ県民センター

問合せ先：Email Miyagi.kenmincenter.com

<http://www.miyagikenmin-fukkoshienn.com/>

映画「Winny」の上映会

全事件での「取り調べ可視化」を考える

ファイル交換ソフト「Winny」を開発した金子勇氏が著作権法違反を問われ、一審有罪、控訴審で無罪、最高裁で無罪となった刑事事件。利用者だけでなく、ソフトウェア開発者も逮捕・起訴されたことで社会的な耳目を集めた。可視化されていない取調室に於いて、どんな取り調べが行われたのか。無罪を得るまで7年の歳月を要した。

日時：9月29日（日）13:00～16:00

会場：仙台弁護士会館4階 大会議室

トークセッション

監督：松本優作（映画「Winny」の監督）

弁護士：秋田真志（Winny 事件の弁護士）

参加費：無料

主催：仙台弁護士会、共催予定：日本弁護士連合会、東北弁護士連合会

問合せ先：仙台弁護士会 022-223-1001

対話集会「もっと柳沢協二さんと語ろう！」

戦争をなくすために～非戦の安全保障論 PART. 2～

8月4日に開催した。柳沢協二さんの講演会では軍拡の理由としている台湾有事や北朝鮮有事に対してどのように取れ得ればよいのか、そして戦争に至らせないための外交とは何かと詳しくお話し頂きましたが、今回は柳沢さんとの対話の集会です。憲法9条と13条を道しるべに、非戦への道を歩み続けるために。前回参加されてない方もどうぞ。

日時：10月5日（土）14:00～16:00

会場：フォレスト仙台2F 第一会議室

おはなし：柳沢協二さん（元内閣官房長官補）

ファシリテーター：大橋洋介弁護士

参加費：500円

主催：「女の平和」ピースアクションみやぎ

連絡先：090-5832-6836

宮城女性九条の会 第51回憲法講座・2024年度定例総会

「自由」と「ゆとり」を認めない日本の教育

～旧教育基本法の問題に立ち返ろう～

休日に先生と写生を楽しんだ小学生時代、日曜ごとに担任をサイクリングに連れ出した中学生時代。でも、安倍「改正」教育基本法以降、政府は教科書検定で教育内容に介入し、学力テストの強制、道徳教育に評価を導入、報告文書の細密化、教員研修の義務化など、必要のない施策を次々と強行し、自由とゆとりを奪いました。「自由」と「ゆとり」を奪う教育は何をもたらすか一緒に考えましょう。

日時：10月12日（土）13:30～15:20 憲法講座 15:25～16:10 総会

会場：フォレスト仙台5F 501号室

講師：渡辺孝之さん（宮教組執行委員長、東松島市立鳴瀬桜華小学校教諭）

参加費：300円

主催：宮城女性九条の会

連絡先：090-5832-6836 Fax：022-241-0429

2024 年日本軍「慰安婦」問題パネル展

軍隊は女性を守らない～沖縄の日本軍慰安所と米軍の性暴力～

アジア太平洋戦争末期、日本の防波堤にされた沖縄では、3か月にわたる地上戦で多数の住民が犠牲になりました。沖縄に配備された日本軍は、部隊が駐屯した津々浦々に140カ所余りの慰安所をつくり、沖縄や朝鮮、台湾、本土の女性たちを「慰安婦」にしました。激しい地上戦の中「慰安婦」達は戦場に置き去りにされたり、戦闘に巻き込まれて多数が犠牲になりました。米軍基地の拡大の中で今も米兵の性暴力が続いている実態を告発します。

日時：10月19日(土)～10月25日(金)10:00～18:00

*10月19日は13:00～ 10月25日は16:00まで

会場：仙台福祉プラザ2階 展示ロビー(022-213-6237)

入場：無料

主催：日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざす宮城の会

連絡先：仙台中央法律事務所気付 090-2023-9076、

【県内九条の会等の活動報告・情報】

宮城県内九条の会総会記念講演

「戦争させない79年を維持してきた9条の会の運動」

に確信を持ち、自公政権を倒して新たな改憲策動を阻止しよう！

9月8日、フォレスト仙台2Fホールで宮城県内九条の会連絡会総会と記念講演が開催され、記念講演には132人の会員、市民の皆さんが参加しました。記念講演の終了後総会が開催され、相原研一委員長より第一号議案「2024年度総括」、第二号議案「2025年度活動方針」第三号議案「2025年役員案」が提案され、全議案とも参加者の拍手で確認されました。



記念講演は九条の会事務局で一橋大学名誉教授の渡辺治さんを迎えて行われました。演題は「軍拡と改憲で日本と東アジアの平和はつくれるのか～今、改めて平和憲法と市民の力を考える～」と題して行われ、岸田政権がウクライナ、中国の脅威を理由に、安倍軍拡を超える未曾有の軍拡と改憲強行に走り、「戦争できる国」から「戦争する国」にひた走ってきたが、市民の運動で「任期中の改憲」の公約を挫折させた。岸田改憲の背景にはソ連崩壊の冷戦後におきた中国と協調し、「ならず者国家」との戦争に注力したアメリカの中東戦略、ロシアと中国にアメリカ資本の自由市場を広げるというアメリカの戦略が失敗、それを「米中対決による分断と戦争の時代に付き進む」とした米国の戦略転換があると指摘した。

自衛隊が作られた以降、自民党による改憲策動が数次にわたり繰り広げられてきた歴史を振り返り、そのつど市民の反対運動に遭遇し、逆に3つの制約条件＝武力行使の発動条件、地理的行動範囲の制約、装備の制約つけざるを得なかった。

安倍政権で行った集団的自衛権行使禁止の解釈改変を実質的に進める岸田軍拡として5つの特徴を指摘した。(a)憲法9条を蹂躪する「戦争する軍隊」への自衛隊の改造、(b)「戦争する軍隊」だけでは間に合わない、「戦争する国」づくりとして防衛産業育成、日米ミサイル共同開発。(c)「日米軍事同盟」の新たな段階＝安保3文書で安保条約を攻守同盟条約にし、(d)外交政策をアジア、ASEANの軽視、対中ブロックづくり、同盟国・同志国外交に転換、(e)大軍拡を賄うために増税、国民負担、くらしの破壊に踏み切った。と指摘。

岸田首相が「任期中改憲」にこだわった理由として①岸田軍拡で憲法との乖離があらわになり、改憲による「解消」が焦眉の課題になったこと。②2021年総選挙後の明文改憲に有利な政党配置ができたことによるものであった。今国会では「議員任期延長改憲」を先行して維新や国民民主党などとともに憲法調査会でまとめさせようとしたが、裏金問題により内閣支持率・自民党支持率とも激減、岸田首相が再選をあきらめ、8月7日の憲法改正実現本部会合に出席、8月中に「9条への自衛隊明記」を入れて論点整理を指示した。

9月2日の改憲実現本部での論点整理承認後、総裁選挙の各候補の改憲論に枠をはめ



て、総裁選挙を改憲盛り上げの場としていると指摘した。こうした事態に対して、「戦争させない79年を維持してきた9条の会の運動に確信を持ち、自公政権を倒して新たな改憲策動を阻止しよう!」。「そのためには我々が声を上げ、多様な活動を繰り広げること、地域における「戦争する国」づくりの現れに対してその危険性を市民に訴える。総選挙で立憲野党の前進のために頑張る」と結びました。